

第 22 回国土審議会離島振興対策分科会への意見

特別委員 逢坂誠二

離島は周囲を海に囲まれているため、海洋ごみ（漂流・漂着など）の存在が特に目につきやすく、海洋ゴミによって地域全体の環境が悪いかのような印象を与えかねません。政府は現在も、漂着ごみに対する対策を行なっておりますが、それら対策をより一層周知すると同時に予算の拡充も行い、離島の自治体が積極的に海洋ごみ対策に取り組めるよう配慮願いたい。

離島は地理的条件などを理由として離島以外の地域との隔絶性が高く、一般的に「条件不利地域」などと呼ばれることがあります。逆に、この隔絶性の高さが、地域内で完結するような取り組みを行う場合は、有利に働く場面もあると承知しております。食料自給率を高めること、脱炭素を念頭にして再生可能エネルギー比率を高めること、これらは現在の日本の大きな課題ですが、日本全体でこれらの課題を克服するのは、簡単なことではありません。一方で隔絶性の高さを逆手にとって、条件の合致する離島において、食料自給率を高め、再生可能エネルギー比率を高めることは、日本全体が目指す姿のモデルにもなりうると思われれます。こうした観点から、条件の叶う離島での食料自給率の向上策と、再生可能エネルギーの普及促進策に、政府としてさらに力を入れて頂きたい。